

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

項目	内容
会議の名称	令和 8 年度 第 1 回 加須市生涯学習推進会議
開催日時	令和 8 年 8 月 3 日（月） 13 時 30 分から 14 時 30 分まで
開催場所	加須文化・学習センター「パストラルかぞ」2 階 会議室
議長氏名	中根 将行会長
出席委員	中根 将行委員 新井 好一委員 藤田 博史委員 渡邊 章委員 鈴木 君恵委員 江田 美喜子委員 坂本 健蔵委員 栗原 幸子委員 野本 一義委員 渡辺 清二委員 吉澤 君子委員 瀬下 京子委員 計 12 名
欠席委員	秋葉 正之委員 大谷 貴子委員 計 2 名
会議次第	1 開会 2 委嘱 3 あいさつ 4 議事 令和 7 年度第 3 次加須市生涯学習推進計画に基づく事業の実施状況の 点検・評価について 5 その他 6 閉会
会議資料の名称	令和 8 年度 第 1 回 加須市生涯学習推進会議 次第 資料 1 加須市生涯学習推進会議委員名簿 資料 2 加須市生涯学習推進会議設置規則 資料 3-1 令和 7 年度第 3 次加須市生涯学習推進計画 進行管理調書 資料 3-2 令和 7 年度第 3 次加須市生涯学習推進計画 進捗等の状況 資料 3-3 令和 7 年度第 3 次加須市生涯学習推進計画 進行管理調書（個別）
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴者の数	0 人

項目	内容
説明者の職・氏名	生涯学習課長 塚田 義正
事務局職員職・氏名	教育長 小野田 誠 生涯学習部長 野中 裕 生涯学習課長 塚田 義正 生涯学習課人権教育担当 主幹 柳田 久弥 生涯学習課生涯学習担当 主幹 斎藤富美恵 生涯学習課文化財担当 主事 高橋 杜人 北川辺文化・学習センター館長 今井 秀行
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	—

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
斎藤主幹	1 開会
	2 委嘱 新たに委員となった者（1 名）に教育長から委嘱状を交付
	3 あいさつ
中根会長	会長
小野田教育長	教育長あいさつ
	各委員自己紹介
	4 議事
議長（中根会長）	議事(1)「令和 7 年度第 3 次加須市生涯学習推進計画に基づく事業の実施状況の点検・評価について」事務局から説明を求めた。
塚田課長	資料 3-1 から資料 3-3 により、令和 7 年度における第 3 次加須市生涯学習推進計画の進行管理及び点検・評価について説明した。 43 事業を対象に評価を実施した結果、目標達成が 10 事業、概ね達成が 16 事業、やや遅れている事業が 8 事業、大幅に遅れている事業が 9 事業であった。目標達成及び概ね達成の事業は計 26 事業であり、達成割合は 60.47%であった。 生涯学習機会の充実、文化財の保存・活用、子どもの読書活動、子どもの居場所づくりなどでは一定の成果が見られた。一方、参加者数や来場者数を成果指標とする事業を中心に課題があり、社会環境や市民のライフスタイルの変化も踏まえ、事業内容、周知方法、成果指標及び目標値の見直しを進める必要がある旨を説明した。
栗原委員	家庭教育に関する学習会は、参加者の減少が課題となっている。他自治体でも同様の傾向が見られる。インターネットで情報を得られる環境が広がる一方、人と直接会い、話し合い、意見を交わす機会は重要である。参加しやすい企画、名称、テーマ設定を工夫し、人とのつながりや交流の意義を伝えていく必要がある。
野中部長	意見のとおり、オンライン上で知識を得られる機会が増えているが、生涯学習では、人が集まり、学びや体験を共有することにも大きな意義がある。今後の事業実施に当たっては、参加しやすい開催方法や周知方法を検討するとともに、対面による交流の価値も大切にしていく。

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
塚田課長	第4次加須市生涯学習推進計画について説明した。第3次計画の基本的な方向性を継承しつつ、事業の整理・統合、実態に即した成果指標及び目標値の見直し、満足度等の質的指標の追加を行った。また、生涯学習施設の老朽化等を踏まえ、「生涯学習活動の推進と施設の充実」を位置付け、施設の安全性及び魅力の向上を図ることとした。
新井委員	生涯学習施設は老朽化が進んでおり、特に空調設備などの適切な維持管理・更新が必要である。また、合併後16年経過したのだから、全市で実施する事業と地域ごとに実施する事業を整理し、市全体としての一体感を意識した事業運営を進めてほしい。
野中部長	文化・学習センターや未来館等の施設は整備から相当の年数が経過しており、設備の計画的な点検、修繕及び更新が課題である。施設の安全性を確保しながら、適切な維持管理に努める。 また、地域ごとの経緯や特色を尊重しつつ、人口減少等の状況も踏まえ、全市で実施する取組と地域ごとに実施する取組について、効果や効率性を見極めながら検討していく。
藤田委員	「まちかど美術館推進事業」が終了となった経緯について伺いたい。児童生徒の作品を地域で展示する取組は、芸術文化に親しむ機会となるため、継続的な取組が必要ではないか。
斎藤主幹	当該事業については、協力団体や学校への負担等を踏まえ、事業を完了したものである。一方で、児童生徒の作品展示については、こども美術展覧会等の取組を継続している。今後は、斎藤与里展とこども美術展覧会を合同開催するなど、児童生徒や保護者をはじめ幅広い世代に芸術文化に親しんでもらえる機会を提供していく。
議長(中根会長)	その他意見を求めたが、特になかったため、議事を終了した。
塚田課長	5 その他 加須未来館の空調設備の状況について、施設全体の空調設備の更新に向け、関係部署と調整を進めている旨の報告。 今後の生涯学習関連イベントの報告。「(仮称) 斎藤与里とこども展」、「郷土からた大会」、「下総皖一音楽賞受賞者コンサート」。
斎藤主幹	6 閉会

署名欄

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和8年8月4日

署名

中根 将行
